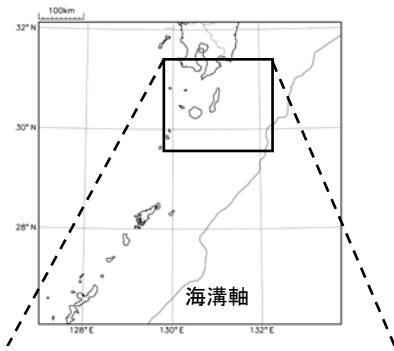
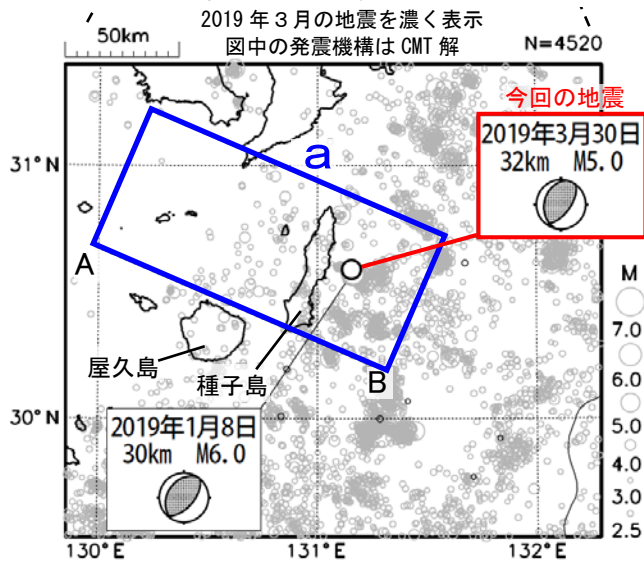


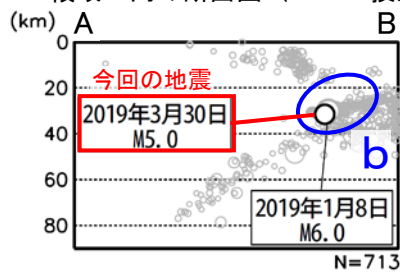
### 3月30日 種子島近海の地震



震央分布図  
(1997年10月1日～2019年3月31日  
深さ0～90km, M $\geq$ 2.5)

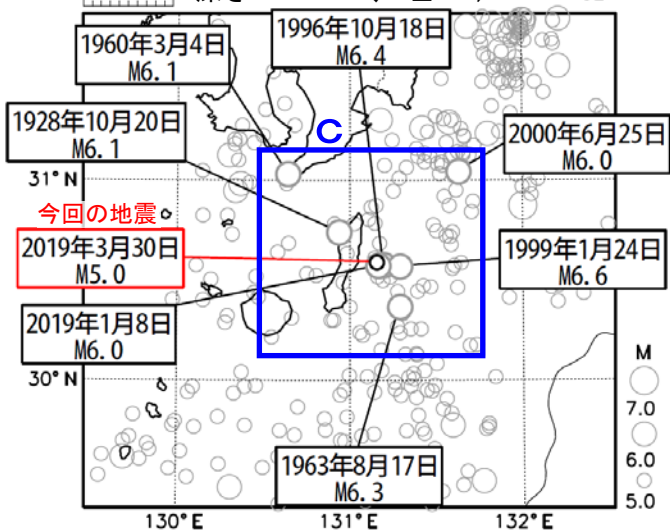


領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

(1922年1月1日～2019年3月31日、  
深さ0～200km, M $\geq$ 5.0)

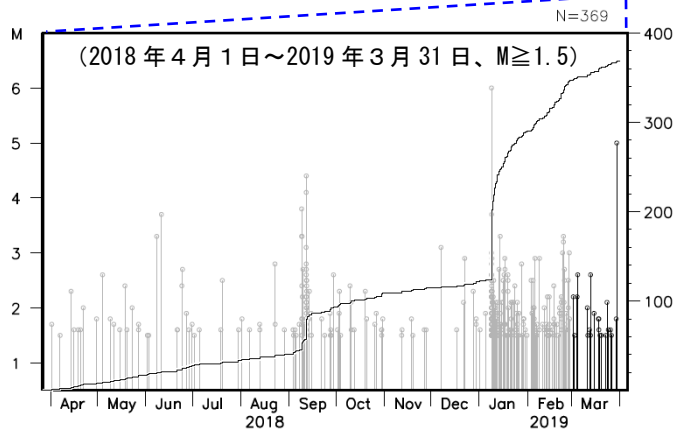
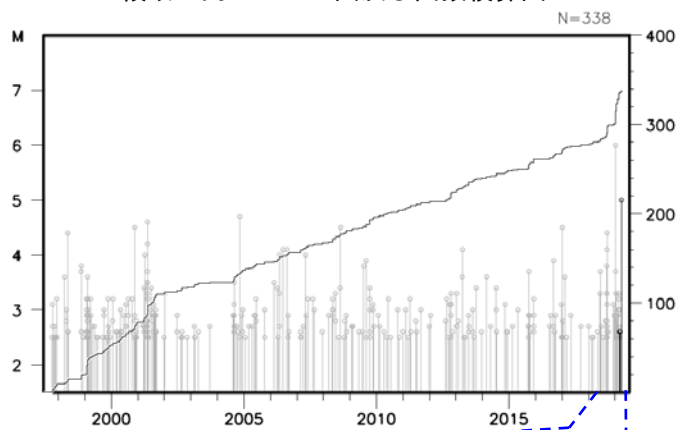


2019年3月30日05時55分に種子島近海の深さ32kmでM5.0の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM4.0以上の地震が時々発生している。2019年1月8日にM6.0の地震（最大震度4）が発生して以降、地震活動がやや活発となっていた。

1922年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が7回発生している。このうち、1996年10月18日にはM6.4の地震（最大震度4）が発生し、種子島で17cmの津波を観測した。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

